



小澤征爾



フィリップ・トンドゥル



ハンズ・マティン・アルトマン



トルヴェール・クワルテット

FOCUS

INTERVIEW with Philippe TONDRE

## 5.23 [金] 25日 水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会、27 [火] 川崎公演 いま最も注目すべき若手オーボエ奏者、フィリップ・トンドゥル ——ソリストとして迎える飛翔のとき

文 高巢真樹

5月の水戸室内管弦楽団(MCO)定期演奏会では、1月に見事に復帰して元気な姿をみせたマエストロ小澤征爾とMCOが、ヴァーグナーをして「舞踏の神化」とも評された、ベートーヴェン作曲〈交響曲 第7番〉に挑みます! プログラムの前半は「指揮者なし」で、MCOが世界に誇る二人の名手による華麗なソロ・ステージをお届けします。まずはローランド・アルトマン(ティンパニ)による、ゲルスター作曲〈ティンパニと弦楽のためのカプリチエツト〉を。続いてフィリップ・トンドゥル(オーボエ)による、モーツァルト作曲〈オーボエ協奏曲 八長調〉をお贈りします。

本誌では、去る1月の定期演奏会に出演された時、トンドゥルさんをお願いしたインタビューを、次にご紹介します。

トンドゥルさんは10代でシュトゥットガルト放送交響楽団の首席奏者に抜擢され、世界最難関ともいわれるミュンヘン国際コンクールで優勝するなど、早くから頭角を現した稀有な才能の持ち主。MCOでは最年少とはいえ、自然で艶やかな美音と雄弁なフレーズングでアンサンブルを牽引し、小澤征爾・総監督からも厚い信頼を得ています。今回の定期では、ソリストとしての彼の魅力をたっぷりお楽しみください。

### フィリップ・トンドゥル インタビュー

——今回は協奏曲のソリストとしてご登場いただきますが、今のお気持ちをお聞かせいただけますか?

いつも水戸の仲間との音楽創りを楽しんでいますので、大好きなMCOでソリストとして演奏する機会をいただき、とても嬉しく思います。MCOとのモーツァルト〈オーボエ協奏曲 八長調〉は、室内楽のような演奏になると思います。もちろん主なメロディを吹くのはオーボエですが、オーケストラとの掛け合いがたくさん含まれます。それにモーツァルトの演奏を生き生きとしたものにするには、室内乐的な感覚が必要です。今回はオーボエとオーケストラが対等に音楽を創るような演奏をお届けします!

——この作品の魅力を教えてくださいませんか?

この作品が作曲された1777年頃、モーツァルトは自らのキャリアを築こうと自立を目指していました。またヨーロッパ各地を旅して様々な音楽を吸収していたため、当時オーボエでは難しいとされていた多くのことが試みられています。本当に愛すべき作品に仕上がっています。第3楽章は飛びぬけて素晴らしいロンドですし、第2楽章は内に秘め

たラブソングのようです。第1楽章では、オーボエのメロディが、主題ではなく八長調の音階から始まり、冒頭から天才的です。それに何といてもこの曲がもつ「自由な感覚」が魅力的です!

——この曲を初めて勉強した頃から今に至るまで、作品の捉え方に変化はありましたか?

もちろん! 言うならば「根気強く勉強するうちに、この曲の演奏をよくコントロールできるようになった」ということです。作品を熟知して大切なことに気が付き、全ての要素をきちんと表現できるようになるまで、忍耐強くいられたということです。でも同時に、全てを知り尽くしてはいないよう願っています。それだと演奏がつまらなくなってしまうから。私は、モーツァルトが願った通りに吹けるような演奏家になるための道を、今歩んでいるのだと思います。

——最後に、聴衆の皆さんへメッセージをお願いします。

ぜひ演奏を楽しんでください! 今回は、モーツァルトがザルツブルクで追い求めていた「自由」を表現したいと思っています。モーツァルトを演奏するには、完璧であり、クリアなエレガンスが求められます。でも一番大事なのは「自由」であること。それはたとえば森や山

に出かけて、美しい景色を目にした時のような感覚です。それを生み出すことが私の目標です。聴衆の皆さんにもそんな感覚を味わっていただけるよう願っています。どうぞ楽しみにしててくださいね！

### 水戸室内管弦楽団第90回定期演奏会

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

5/23 **金** 18:30 開場  
19:00 開演  
5/25 **日** 13:30 開場  
14:00 開演

川崎公演 | 会場 ミューザ川崎シンフォニーホール

5/27 **火** 18:30 開場  
19:00 開演

全席指定 S席 15,000円、A席 12,500円  
B席 10,000円

出演 小澤征爾(指揮)、ローランド・アルトマン(ティンパニ)、フィリップ・トンドゥル(オーボエ)

【第1部】指揮者なし

ゲスト：ティンパニと弦楽のためのカプリチエット  
モーツァルト：オーボエ協奏曲 八長調 K.314 (285d)

【第2部】指揮：小澤征爾

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92

## 5.11 **日** トルヴェール・クワルテット

# Enjoy! 須川展也と仲間たちがいざなう音楽宇宙旅行

文 篠田大基

ジャズやポップスでは魅惑的な旋律を奏でるリーダー役の楽器。吹奏楽ではそれと同時に、金管と木管の音色を融合させる橋渡し役も担う——。主役も脇役も幅広くこなせる万能選手のような楽器が、サクソフォンです。クラシックのオーケストラのなかでは出番は少ないのですが、ビゼーの〈アルルの女〉や、ラヴェル編曲によるムソルグスキーの〈展覧会の絵〉などでは、ジャズやポップスとは一味違う、温かくて透き通った音色を奏でて、聴き手に深い感興を与えてくれます。しかし意外なことに、日本でクラシカル・サクソフォンが広く認知されるようになったのは、ほんの30年ほど前のことなのです。

1980年代、「この楽器の魅力をどうしても伝えたい」という情熱に駆られて、広場やレストランやデパートの前で、ストリート・パフォーマンスを始めたサクソフォン奏者の青年がいました。彼の名前は須川展也。彼と一緒に街頭で演奏していたサクソフォン仲間が母体となって「トルヴェール・クワルテット」が生まれました。須川さんをリーダーに、彦坂眞一郎さん、新井靖志さん、田中靖人さんといった、現在の日本の吹奏楽界を牽引している名サクソフォン奏者たちが、結成当初から活動を続けています。

いまや世界的に知られるスター・プレイヤーとなった須川さん。水戸芸術館の演奏会企画にも過去に3回ご出演くださいました。須川さんとトルヴェール・クワルテットの活動の原点がストリート・パフォーマンスだった！と知ったときは驚きました。けれども考えてみると「なるほど」と思えるところもあります。街ゆく人を振り返らせ、引き込み、楽し

ませる。そのために貪欲に工夫をこらす精神によってこそ、ソロで、室内楽で、吹奏楽団の一員として活躍してきた須川さんとトルヴェール・クワルテットの音楽があるのでしょう。そして様々な工夫を受けとめる懐の深さが、サクソフォンという楽器の面白さなのです。

5月11日、トルヴェール・クワルテットの水戸芸術館公演が開催されます。プログラムのメインは〈トルヴェールの《惑星》〉。有名なホルスト(1874～1934)の組曲《惑星》を、作曲家の長生淳氏がサクソフォン四重奏とピアノのために編曲した作品です。「編曲」といっても、このクワルテットのための作品ですから、ひとひねり効いたエンターテインメントに仕上がっています。というのも、それぞれの惑星に因んだクラシックの名曲がパズルのように隠されているのです。ドビュッシー、ヴァーグナー、モーツァルト……。曲を聴きながら「あれ、この旋律は……？」と考え始めたら、あなたはもう音楽の宇宙探査機に乗っているのです。ホルストの《惑星》を初めて聴くという方から、クラシックのディープなファンまで、ぜひこの宇宙旅行をお楽しみください。しかもホルストの原曲にはない〈彗星〉〈冥王星〉〈地球〉の3曲が加えられ、これらの曲もパズル仕掛け。最後の〈地球〉では、《惑星》の様々な旋律が1曲のなかに織り込まれ、クライマックスには平和のマーチとして吹奏楽ファンお馴染みのホルストのあの名曲が現れます。

もっと詳しく解説したいところですが、お楽しみはコンサートまでとっておきましょう。〈トルヴェールの《惑星》〉はCD化もされています(イマジン・ベ

スト・コレクション IMGN-3001)。長らく絶版でしたが、今年 iTunes で配信されましたので、ご興味をお持ちの方はご試聴ください。「このCDを聴いたら、ライブを絶対聴きたくくなりますよ！」との須川さんのお墨付きです。

ところで、《惑星》以外の演奏曲は？今年初めにお聞きしたところ、「新しいレパートリーができそうで、それをお披露目できるかどうか……」と須川さん。そして先日、ついに曲目が決定しました！コンサート後半でお届けするのは、ピエルネ(1863～1937)作曲の〈民謡風ロンドの主題による序奏と変奏〉と石川亮太氏作曲の〈ナポリ！ナポリ！ナポリ！〉。ピエルネの作品はサクソフォン四重奏の古典的名曲。吹奏楽のアンサンブルコンテストでもしばしば取り上げられます。石川亮太氏の作品が、須川さんがおっしゃっていた新曲——イタリア民謡やナポリに因んだ名曲が織り込まれているとか——です。惑星をめぐる音楽宇宙旅行の帰着点は地球。この星に生きる人々の営みを想像させるような、民謡をモチーフにした新旧2作品が、サクソフォンのさらに奥深い世界へと皆様をいざないます。

### トルヴェール・クワルテット

5/11 **日** 13:30 開場  
14:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

全席指定 一般 3,500円

ユース(25歳以下) 1,000円

出演 トルヴェール・クワルテット(須川展也、彦坂眞一郎、新井靖志、田中靖人/サクソフォン四重奏)、小柳美奈子(ピアノ)

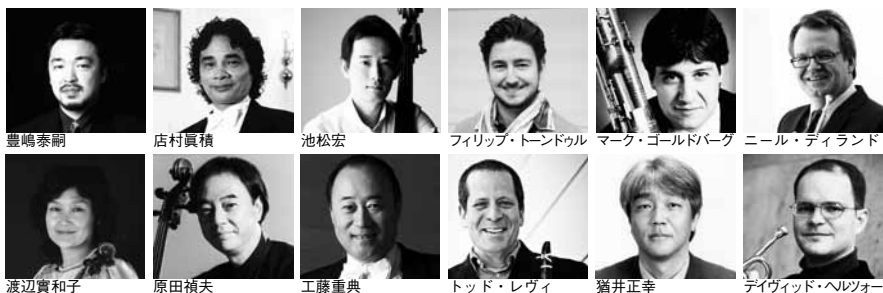
曲目 ホルスト/長生淳：トルヴェールの《惑星》  
ピエルネ：民謡風ロンドの主題による序奏と変奏

石川亮太：ナポリ！ナポリ！ナポリ！

# 5.24 [土] 26 [月] いばらき総文 2014 開催記念 高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン (仮称) ますます充実! MCO メンバーによる弦楽合奏 & 吹奏楽レッスン

文 篠田大基

茨城県、茨城県教育委員会、いばらき文化振興財団と水戸芸術館が連携して開催してきた「高校生のための水戸室内管弦楽団 (MCO) メンバーによる公開レッスン」。今年は MCO 第 90 回定期演奏会の公演と公演の間の 2 日間に開催することになりました。今回の受講生は、今夏、茨城県で開催される全国高等学校総合文化祭のために編成された、県内高等学校の合同弦楽合奏団と選抜吹奏楽団。レッスン両日とも、これまでで最大人数の MCO メンバーが講師として参加して下さることになりました (右欄注目!)。入場無料で一般の方もお聴きいただけ、レッスン後には講師によるミニコンサートもご紹介します。ぜひお越しください。



豊嶋泰嗣 店村真積 池松宏 フィリップ・トンドゥル マーク・ゴールドバーグ ニール・ディランド  
 渡辺寛和子 原田禎夫 工藤重典 トッド・レヴィ 猶井正幸 デイヴィッド・ヘルツォーク

高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン (仮称)

<p><b>5/24 [土]</b> 13:30 開場 14:00 開始予定</p> <p>会場 水戸芸術館コンサートホール ATM</p> <p>講師 豊嶋泰嗣、渡辺寛和子 (ヴァイオリン)、店村真積 (ヴィオラ)、原田禎夫 (チェロ)、池松宏 (コントラバス)</p>	<p><b>5/26 [月]</b> 13:30 開場 14:00 開始予定</p> <p>会場 茨城県立県民文化センター</p> <p>講師 工藤重典 (フルート)、フィリップ・トンドゥル (オーボエ)、トッド・レヴィ (クラリネット)、マーク・ゴールドバーグ (ファゴット)、猶井正幸 (ホルン)、ニール・ディランド (ホルン)、デイヴィッド・ヘルツォーク (トランペット)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

入場無料 (要整理券)  
 整理券配布場所: 水戸芸術館、茨城県立県民文化センター ほか  
 主催 茨城県、茨城県教育委員会、(公財) いばらき文化振興財団、(公財) 水戸市芸術振興財団

## 2014.3.16 柴草幹男 フルート・リサイタル

茨城に活動の一拠点を置く、柴草幹男さんのフルート・リサイタル。共演は村井由紀さん (ヴィオラ)、村井将さん (チェロ)、樋浦靖晃さん (ギター)。プログラムは、柴草さんが委嘱初演した信長貴富作品をはじめ、ヴィラ＝ロボスやマチャドといったブラジル人作曲家作品、現代タンゴの革命児のピアソラ作品、そしてジャズの大御所チック・コリアの〈スペイン〉という多彩なものであった。柴草さんの人柄そのままに、エネルギッシュで楽しいステージが繰り広げられた。《中村》

アンケートから ■ “柴草さんの世界” を十分に楽しませていただきました。フルートとギターの組合せ、素晴らしくマッチしていました。(水戸市の方) ■ 高度なテクニック、輝くセンス、でも温かい雰囲気会場がなる柴草先生、素晴らしいです。共演者の方々も皆さん、すごい! (東海村の方) ■ プログラムすべて新鮮でした。フルートで、いろいろなジャンルの音楽に挑戦していて素晴らしかったです。(水戸市の方)

## 2014.3.22 ちょっとお昼にクラシック 森麻季 (ソプラノ)

日本が世界に誇るソプラノ歌手・森麻季さん

が「ちょっとお昼」にご登場くださいました! ピアノは山岸茂人さん。ドニゼッティやグノーのアリアでは、森さんならではの可憐で美しいコロラトゥーラで、会場は一気に華やいだ空気に。〈さくら横ちょう〉など日本歌曲では、陰影豊かな日本歌曲ならではの詩情が表現されました。時にはサイドや裏にいるお客様の方に向けて歌われ、優しいお心遣いも印象的でした。多彩な森さんの魅力が存分に発揮された1時間、コンサートホール ATM はまさに “春爛漫” といった幸福感に包まれました。アンコールは、ヘンデル〈リナルド〉より “涙の流れるままに”、そしてプッチーニ〈ラ・ボエーム〉より “私が街を行けば”。《高巢》

アンケートから ■ 久々のクリスタルボイスに身も心も洗われて、午後のひとときを満喫しました。またピアノ演奏が合間に入り、本当に得した気分です。(無記名の方) ■ 2つの〈さくら横ちょう〉を一度に聴いてみたかったので、森さんで実現したことに酔いしれております。(東海村の方) ■ 麻季さんの歌う “初恋” は、恋の苦しみ、楽しみをのりこえ、一歩ふみだそうとする凛としたものを感じ、感動を覚えました。(無記名の方) ■ 森麻季さんの透明感のある美声に酔いしれました。オペラの「アリア」はもちろん、日本の歌の優しい、なつかしい響きもブラボー♪ でした。(水戸市の方)

## 最近の公演から



1: 柴草幹男 フルート・リサイタル  
 2-3: ちょっとお昼にクラシック 森麻季



## ユースチケットのご案内

25歳以下の方を対象に、割引料金で演奏会にご入場いただける「ユースチケット」制度を導入しました。平成26年4月以降の指定公演でご利用できます。小学生以上の若人の皆さん、どうぞコンサートホールにご来場ください！

## 茨城県の演奏家による演奏会企画を募集します。

平成27年度の茨城の演奏家による演奏会企画を下記の要領で募集いたします。

### 【応募要項請求方法】

- ①水戸芸術館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
- ②82円切手を貼付し返信先を記入した封筒を同封の上、下記宛て郵送
- ③水戸芸術館ホームページ [http://arttowermito.or.jp/] よりダウンロード

### 【応募対象】個人：イ）茨城に本籍を有する

- イ）現在、茨城県内に居住している
- ハ）現在、茨城県内に通勤・通学している（週に4日以上）
- ニ）過去において茨城県内に居住・通勤・通学したことがある

団体：茨城県を中心に活動されている団体

※ただし、平成25、26年度の「茨城の演奏家による演奏会企画」にご出演された方はご応募できません。

【受付期間】2014年5月13日（火）～6月12日（木）[当日必着]

【開催時期】平成27年度（2015年4月～2016年3月）

### 【提出資料】①所定の申込用紙

- ②これまでの演奏歴を示す資料（演奏会チラシ等）
- ③住民票の写し
- ④2013年6月1日以降の演奏のデモ音源
- ⑤返信用封筒一部（82円切手を貼付し、本人の住所・氏名を明記すること）

【お問い合わせ】〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

水戸芸術館 音楽部門「演奏会企画」係  
TEL.029-227-8118 / FAX.029-227-8130 (担当：中村)

## チケット・インフォメーション

### 《4月26日(土) 発売分》

#### ■親と子のファミリーコンサート

オペラシアターこんやく座 オペラ「銀のロバ」

6/14 (土) 13:30 / 17:00 開演

料金 [全席指定] 大人 ¥1,500 / 小学生 ¥1,000 会場：ACM 劇場

#### ■竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル

7/6 (日) 14:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥5,000 / ユース (25歳以下) ¥1,500

※竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタルには、4/22(火)より財団運営維持会員、4/23(水)より友の会(一般、法人)会員の先行電話予約がありますので、4/26(土)の一般発売の時点で、券種によってはお客様のご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

## これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし  
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎イアン・ポストリッジ テノール・リサイタル……………4/17(木)中央○、左右○

◎トルヴェール・クワルテット……………5/11(日)中央×、左右○

◎水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会(第2部指揮：小澤征爾)  
……………5/23(金)完売、5/25(日)完売

※4/2(水)現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

## 水戸芸術館の主な5月のスケジュール

### コンサートホール ATM

#### ■トルヴェール・クワルテット

5/11(日) 14:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25歳以下) ¥1,000

#### ■水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会(第2部指揮：小澤征爾)

5/23(金) 19:00 開演、5/25(日) 14:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

#### ■いばらき総文2014開催記念

高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン(仮称)

5/24(土) 14:00 開始 入場無料(要整理券)

## エントランスホール

#### ■パイプオルガン プロムナード・コンサート《こどもの日スペシャル》

5/5(月・祝) 森亮子、木下侑(ソプラノ)

13:30～のみ(50分程度) 入場無料

#### ■パイプオルガン プロムナード・コンサート

5/10(土) 木下啓香、31(土) 池谷瑞季

各日 12:00～ / 13:30～(各回30分程度) 入場無料

## ACM 劇場

#### ■ゆうくとマットさんの『カレーライスはこわいぞ』

5/3(土・祝) 13:00 開演、5/4(日・祝)～6(火・祝) 各日 11:00 開演

料金 [全席指定] 大人 ¥1,500 / こども(3歳から小学6年生) ¥800

#### ■劇団民藝『八月の鯨』

5/24(土) 14:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥5,000 / A席 ¥4,500 / B席 ¥3,500

#### ■水戸室内管弦楽団 大スクリーン・コンサート

5/25(日) 14:00 開演(13:15 開場)

入場無料 定員：300名(要事前申込み5/10(土)必着)

※詳細はチラシまたはホームページをご覧ください。

## 現代美術ギャラリー

#### ■拡張するファッション

2/22(土)～5/18(日) 9:30～18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日 ※ただし5/5(月・祝)は開館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

## 茨城の主な5月の演奏会

#### ■茨城県民文化センター(大ホール) TEL / 029(241)1166

・いばらき総文2014開催記念

高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン(仮称)

5/26(月) 14:00 開始 入場無料(要整理券)

#### ■ギター文化館 TEL / 0299(46)2457

・ギター文化館所蔵コレクションによる 銘器コンサート 5/5(月・祝) 14:00 開演

#### ■小美玉市四季文化館(みの〜れ)(風の広場) TEL / 0299(48)4466

・光と風のステージ CUE vol.24 「宮本妥子〜マリムバ・打楽器の魅力〜」

5/17(土) 19:00 開演

## チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間：9:30～18:00(月曜休館)

## 公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall\_ATM

## 編集後記

自分と2歳違いの妹の肌年齢が18歳、という事実に衝撃を受け、肌の手入れに力を入れています。けれど、彼女のように毎晩22時に就寝するのはとうてい不可能。夜型の人間には、美肌への道のりは険しいようです。(り)

お片付け。使用せず忘れ去られたものが出てくる。体はひとつ。年は365日。想像していたよりもはるかに制限があるようだ。自分の生活、性格に合った最小限の物だけで生活したいと日々考えている。さ、頑張る。(og)

映画『ウェルズの山』を観て、実家・長野県の昔話を思い出した。八ヶ岳は昔、富士山よりも高かったのに、背比べで負けた富士山に叩かれて標高が低くなったという話。手の生えた富士山？ 想像したら……、変。(篠)

畑中先生の指揮でマーラーの「さすらう若人の歌」を歌って20年が経つ。私はもはや若人ではないが、何か大切なものを探し求める旅はずっと続いている。今度のポストリッジの歌はどんな風景を見せてくれるだろうか。(て)

先日終了したオルガン講座発表会。舞台裏では、互いの演奏を祈るように見守り、励まし合う出演者の姿が……。逃げずにチャレンジしようという勇氣と想いのつまった演奏で、感動を与えてくれた生徒さんたちに感謝！(樹)

学生時代にプロムナード・コンサートに出演したオルガニストが、その後留学などして、国際コンクールで目覚ましい成果を上げ、水戸に弾きに戻って来てくれたりする。世の移ろいを嘆くばかりでない、嬉しい瞬間だ。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ] 2014年5月発行 第187号  
編集発行：水戸芸術館音楽部門  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8  
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130  
E-MAIL [ankmr@arttowermito.or.jp](mailto:ankmr@arttowermito.or.jp)

URL <http://arttowermito.or.jp/>  
編集：水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子  
大金絢子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃  
デザイン：大金絢子  
印刷所：山三印刷株式会社